

オスプレイの全国運用

安保法制の「与党合意」前後から、オスプレイ関連の記事が大きく報じられている。朝日新聞 12 日夕刊によると、米国防総省は 11 日午後（日本時間 12 日午前）、米空軍の新型輸送機オスプレイ CV22 を 10 機、横田基地（東京都福生市など）に配備すると発表した。2017 年後半に 3 機配備し、残り 7 機は 21 年までに配備を完了する計画だという。中谷防衛相は 12 日の閣議後会見で「通常の飛行訓練に加えて、低空飛行、夜間飛行（訓練）は実施する」と述べた。米軍のオスプレイは現在、沖縄県宜野湾市の米軍普天間飛行場に 24 機配備されているが、日本本土への配備は初となる。普天間のオスプレイは米海兵隊仕様の MV22。これに加えて、横田に 10 機を配備することになる。空軍仕様の CV22 は特殊作戦部隊が使用する。

同日の中日新聞夕刊の解説によると、米国防総省は CV22 について「優れた安全性を記録している」と説明するが、過酷な状況下で運用されるため事故率が高い。



2012 年に防衛省が発表した資料では、10 万飛行時間当たりの事故率は、MV22 を大きく上回る。12 年 6 月には米フロリダ州で訓練中に墜落し、乗員 5 人が負傷する事故を起こした。横田基地周辺の住民が最も懸念するのもこうした点だ。

オスプレイは安全性とともに、騒音などでも問題視されてきた。低空、夜間飛行も計画されており、住民の不安は高まるばかりだ。米軍横田基地は、東京都心から西へ約 40 キロにあり、在日米軍司令部や米第 5 空軍司令部が置かれている。1949 年に旧日本陸軍の飛行場として開設され、戦後、米軍が接收。福生市など 5 市 1 町にまたがり、面積は約 714 万平方メートルで、3000 メートル級の滑走路が 1 本ある。2012 年に航空自衛隊の航空総隊司令部が東京都府中市から移転し、ミサイル防衛 MD の拠点となる「日米共同統合運用調整所」が設置された。住民が米軍機の夜間飛行差し止めや騒音被害に対する損害賠償などを国に求める 2 つの訴訟が係争中。



米軍	自衛隊	米軍
普天間飛行場 (宜野湾市)	佐賀空港へ (佐賀市)	横田基地へ (福生市など)
24機 配備済み	17機 配備を計画 19年度から	3機配備 2017年 後半から 21年までに 計10機に

下の 2 枚の写真は中日 13 日朝刊 1 面 3 面「核心」による。左は住宅地に囲まれる横田基地、右はオスプレイ配備の現状と計画だ。

やりたい放題の整備計画に黙ってはおれない。他人事ではない。

2015 年 5 月 16 日)